2025年10月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年９月12日

上場会社名	株式会社ＣＡＩＣＡ ＤＩＧＩＴＡＬ	上場取引所	東
コード番号	2315	URL	https://www.caica.jp
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 鈴木 伸	
問合せ先責任者	(役職名) 代表取締役副社長	(氏名) 山口 健治	(TEL) 03(5657)3000

配当支払開始予定日　―

決算補足説明資料作成の有無　：有

決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2025年10月期第３四半期の連結業績（2024年11月１日～2025年７月31日）

（１）連結経営成績(累計)　(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年10月期第３四半期	3,840	△9.1	66	△33.8	74	△26.7	588	―
2024年10月期第３四半期	4,225	0.8	99	―	101	―	△11	―

(注) 包括利益 2025年10月期第３四半期　1,008百万円(　―％) 2024年10月期第３四半期　△54百万円(　―％)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第３四半期	4.32	―
2024年10月期第３四半期	△0.09	―

(注１) 2024年10月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。また、2025年10月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(注２) 2024年10月期第３四半期における数値については、2025年６月９日付で（訂正）第３四半期決算短信（連結）を提出しており、過年度遡及修正における訂正後の数値を記載しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年10月期第３四半期	3,194	2,666	83.5
2024年10月期	2,425	1,659	68.4

(参考) 自己資本 2025年10月期第３四半期　2,666百万円　2024年10月期　1,659百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2025年10月期	―	0.00	―		
2025年10月期(予想)				―	―

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

2025年10月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

３．2025年10月期の連結業績予想（2024年11月１日～2025年10月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,409	△3.5	132	15.1	141	1.7	906	―	6.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

対前期増減率は、過年度遡及修正における訂正後の数値を基礎に算定しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　：有

新規　―　社（社名）　、除外　１　社（社名）株式会社カイカファイナンス

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年10月期３Ｑ	136,560,794株	2024年10月期	136,560,794株
②　期末自己株式数	2025年10月期３Ｑ	148,593株	2024年10月期	139,361株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2025年10月期３Ｑ	136,416,582株	2024年10月期３Ｑ	136,429,667株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績などの見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。詳細につきましては、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（会計方針の変更） …… 9
（セグメント情報等） …… 10
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 12
（重要な後発事象） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

2024年10月期第３四半期における数値については、2025年６月９日付で（訂正）第３四半期決算短信（連結）を提出しており、過年度遡及修正における訂正後の数値を記載しております。

当第３四半期連結累計期間（2024年11月１日～2025年７月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善等により緩やかな回復基調が続きました。一方で、物価上昇が個人消費に及ぼす影響や、米国の関税政策の不確実性による景気の下振れ懸念等、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが事業を展開するITサービス業界及び金融サービス業界は、各企業の業務効率化への意欲と労働人口の減少による人員不足に伴いDXの推進が求められております。DX推進の動きにより、先端技術の重要性とITサービス産業及び金融サービス産業の市場の拡大がますます加速していくものと見込まれます。

このような状況の下、当社グループは、ITサービス事業において利益率の向上を図るとともに、新規ビジネスであるDXソリューションのサービスを開始しました。

また、当社グループは、2023年10月期に実施した暗号資産関連事業を営む子会社の売却等、赤字が継続していた金融サービス事業から撤退し、安定的なキャッシュ・フローを生むグループ体制への移行を図っております。この一環として、2025年２月27日付で、連結子会社である株式会社カイカファイナンスを解散し、2025年５月23日付で清算結了しました。

さらに当社は、2025年２月３日付で株式会社クシム（以下、「クシム」といいます。）との資本業務提携を解消しました。加えて、当社の連結子会社である株式会社カイカフィナンシャルホールディングス（以下、「カイカFHD」といいます。）のクシムに対する貸付金の回収について、クシムの連結子会社である株式会社ZEDホールディングス（以下、「ZEDHD」といいます。）の株式を取得することによる弁済（代物弁済）を受けるとともに、ZEDHD株式をカイカFHDから株式会社ネクスグループに譲渡しました。本株式譲渡により、当第３四半期連結累計会計期間において、特別利益として投資有価証券売却益529百万円を計上しました。

新たな事業展開としては、2025年７月８日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社ネクス（以下「ネクス」といいます。）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）を行うことを決議し、同日付で、当社及びネクスとの間で株式交換契約（以下「本株式交換契約」といいます。）を締結しました。本株式交換の実施後、ネクスは当社の完全子会社となります。ネクスが有するIoT機器、通信インフラ、エッジコンピューティングに関する高度な技術や実績と当社グループのブロックチェーン、AI及びセキュリティ等の先端技術を合わせ、第４次産業革命の重要技術をフルラインナップで備えることにより、分散型技術とリアルデバイスを融合した新たなサービスの創出や、社会全体のDXを加速する包括的なソリューションの提供の実現を目指してまいります。

詳細につきましては、本日付「CAICA DIGITAL、ネクスと共にWeb3型IoT統合ソリューション構想に向けた戦略的PoCを開始 ～DID×MQTTによる次世代M2M/MECプラットフォームの構築に向けた実証がスタート～」を御参照ください。

なお、本株式交換については、2025年10月９日に予定される当社の臨時株主総会及びネクスの臨時株主総会の決議により、本株式交換契約の承認を受けることを前提としております。

また、足元では、2025年８月18日付で当社の子会社が保有する有価証券の一部を売却いたしました。これにより、2025年10月期第４四半期連結決算において、特別利益として投資有価証券売却益285百万円を計上する見込みです。

当第３四半期連結累計期間における売上高は3,840百万円（前年同四半期比9.1％減）、営業利益は66百万円（前年同四半期比33.8％減）、経常利益は74百万円(前年同四半期比26.7％減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は588百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失11百万円）となりました。

売上高は、ITサービス事業である株式会社ＣＡＩＣＡテクノロジーズにおいて、利益率向上を目的とした高単価案件の選別受注を継続的に行っている影響に加え、新規案件の獲得不足や、想定していた大型案件の引き合い獲得に遅れが生じたこと等により、弱含んで推移しております。利益面につきましては、売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益は減益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益の計上により増益となり、中間連結会計期間に引続き当第３四半期連結累計期間においても各段階利益で黒字となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

１）ITサービス事業

金融機関向けのシステム開発分野は、銀行向け案件において想定していた大型案件の引き合い獲得に遅れが生じ、来期向けの案件に切り替わったことに加え、証券・保険向け案件において、新規案件の獲得が不足しており弱含んで推移いたしました。非金融向けシステム開発分野は、堅調に推移したものの、旅行業を中心にオンサイト型のプロジェクトが増加傾向にあり、これに対応できる人員確保が課題となっております。フィンテック関連のシステム開発分野は、一部案件の顧客都合による終了があり、想定を下回って推移いたしました。

一方、新規ビジネスであるDXソリューションサービスは好調であり、当第３四半期連結累計期間においても概ね期初の想定どおりに伸長しております。DXソリューションサービスは、顧客のDX化の加速を目的とし、大規模エンタープライズ向けのDXソリューションを有する大手海外ベンダーと提携し、プロダクト販売、コンサルティング、設計、追加システム開発、導入サポート、保守・運用までをフルSIとして提供するサービスです。2025年７月には、各製品に関する情報を発信するランディングページ（LP）を新たに公開したことに加え、製品をご利用中のお客様を対象とした研修サービスを開始する等、販売強化に取り組んでおります。

これらの結果、ITサービス事業の売上高は、3,838百万円（前年同四半期比8.5％減）、営業利益は433百万円（前年同四半期比12.2％減）となりました。

２）金融サービス事業

暗号資産の投資・運用においては、市場が上昇トレンドにあり堅調に推移いたしました。カイカFHDが運営する審査制NFT販売所、Zaif INOの売上高は、NFTの販売高に応じた販売手数料を収益源としております。当第３四半期連結累計期間は、読者と漫画家が共に出版を目指す、NFT漫画プロジェクト第４弾及び第５弾の実施などゲーム分野だけにとどまらず、NFTと親和性が高い分野でのサービスラインナップの拡充を図っております。また、カスタマーディベロップメントのサービスは、暗号資産や金融業界をはじめとした様々な業界に適応可能な顧客対応を行っており、高水準のカスタマーサポートチームを提供するほか、顧客との友好な関係構築を支援しています。

これらの結果、金融サービス事業の売上高は８百万円（前年同四半期比77.9％減）、営業損失は71百万円（前年同四半期は営業損失132百万円）となりました。

３）その他

その他につきましては、暗号資産コンテンツの提供を行うメディア事業で構成されており、売上高は－百万円（前年同四半期は０百万円）、営業利益は－百万円（前年同四半期比は０百万円）となりました。

なお、当該事業は2025年２月で終了しました。

（２）当四半期の財政状態の概況

＜資産、負債及び純資産の状況＞

当第３四半期連結会計期間末における総資産は3,194百万円（前連結会計年度末比31.7％増）となりました。これは主に、短期貸付金が329百万円増加したこと、時価評価等により投資有価証券が497百万円増加したことなどによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における負債は528百万円（前連結会計年度末比31.0％減）となりました。これは主に、短期借入金が169百万円減少したことなどによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における純資産は2,666百万円（前連結会計年度末比60.7％増）となりました。これは主に、当第３四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと、その他有価証券評価差額金が419百万円増加したことなどによるものであります。

以上のとおり、当第３四半期連結会計期間末においては、自己資本比率が83.5％（前連結会計年度末は68.4％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期通期連結業績予想につきましては、2025年６月13日公表の業績予想から修正しております。

詳細につきましては、本日（2025年９月12日）公表しました「2025年10月期通期連結業績予想の修正及び中期経営計画に関するお知らせ」、「2025年10月期第３四半期決算補足説明資料」及び「CAICA DIGITAL、ネクスと共にWeb3型IoT統合ソリューション構想に向けた戦略的PoCを開始～DID×MQTTによる次世代M2M/MECプラットフォームの構築に向けた実証がスタート～」をご覧ください。

なお、当該業績予想は現時点での情報をもとにしており、今後、業績動向の変化を与える事象が生じた場合には、業績予想を変更する場合があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2025年７月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	698,977	678,804
売掛金	887,685	735,941
商品及び製品	576	2,550
仕掛品	2,302	40,585
短期貸付金	－	329,013
未収入金	16,914	5,166
預け金	7,527	19,140
その他	32,573	122,179
流動資産合計	1,646,557	1,933,382
固定資産		
有形固定資産	46,039	44,392
無形固定資産		
ソフトウエア	200	102
その他	1,441	－
無形固定資産合計	1,641	102
投資その他の資産		
投資有価証券	621,483	1,119,219
出資金	56,552	56,374
長期貸付金	1,332,634	799,226
繰延税金資産	10,817	－
その他	77,788	77,279
貸倒引当金	△1,368,416	△835,008
投資その他の資産合計	730,861	1,217,091
固定資産合計	778,541	1,261,586
資産合計	2,425,099	3,194,968

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2024年10月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2025年７月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	225,161	244,799
短期借入金	169,996	－
未払金	89,209	77,979
預り金	13,462	13,219
未払法人税等	28,664	7,086
未払消費税等	42,943	26,812
賞与引当金	136,868	69,955
事業整理損失引当金	1,632	1,632
その他	28,793	36,276
流動負債合計	736,732	477,762
固定負債		
繰延税金負債	528	22,150
その他	28,531	28,169
固定負債合計	29,059	50,319
負債合計	765,792	528,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
利益剰余金	1,863,788	2,452,750
自己株式	△106,019	△106,572
株主資本合計	1,807,768	2,396,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△248,957	170,230
為替換算調整勘定	100,496	100,478
その他の包括利益累計額合計	△148,461	270,709
純資産合計	1,659,307	2,666,886
負債純資産合計	2,425,099	3,194,968

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2023年11月１日 至 2024年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2024年11月１日 至 2025年７月31日）
売上高	4,225,638	3,840,204
売上原価	3,527,166	3,202,447
売上総利益	698,472	637,756
販売費及び一般管理費	598,744	571,711
営業利益	99,727	66,045
営業外収益		
受取利息	143	6,907
貸倒引当金戻入額	6,460	4,200
助成金収入	1,069	－
その他	1,020	360
営業外収益合計	8,693	11,468
営業外費用		
支払利息	2,916	1,116
支払手数料	135	－
投資事業組合運用損	2,822	2,187
その他	1,254	6
営業外費用合計	7,128	3,310
経常利益	101,293	74,203
特別利益		
投資有価証券売却益	－	529,045
金融商品取引責任準備金戻入額	8	－
特別利益合計	8	529,045
特別損失		
投資有価証券評価損	108,504	6,060
特別損失合計	108,504	6,060
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△7,202	597,188
法人税、住民税及び事業税	9,327	2,817
法人税等調整額	－	5,408
法人税等合計	9,327	8,226
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△16,529	588,962
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△4,648	－
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△11,881	588,962

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2023年11月１日 至 2024年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2024年11月１日 至 2025年７月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△16,529	588,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,183	419,187
為替換算調整勘定	12	△17
その他の包括利益合計	△38,171	419,170
四半期包括利益	△54,701	1,008,132
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△50,053	1,008,132
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,648	-

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第３四半期連結累計期間(自　2023年11月１日　至　2024年７月31日)

当社は、2024年１月30日開催の定時株主総会において、当社の繰越利益剰余金の欠損を補填し更なる財務体質の健全化を図り効率的な経営を目的とする無償減資及び剰余金の処分について決議し、2024年３月１日を効力発生日として資本金が604,145千円減少、資本準備金が604,145千円減少し、その他資本剰余金が1,208,290千円増加しております。また、その他資本剰余金のうち16,933,893千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当しております。この結果、当第３四半期連結累計期間において資本剰余金を16,933,893千円減額したことより、資本剰余金の残高が負の値となったため、資本剰余金を零とし、当該負の値を利益剰余金から減額しております。

これらの結果、当第３四半期連結会計期間末において資本金が50,000千円、利益剰余金が1,821,280千円となっております。

当第３四半期連結累計期間(自　2024年11月１日　至　2025年７月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号　2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第１四半期連結累計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－３項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号　2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－２項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第１四半期連結累計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2023年11月１日　至　2024年７月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)１	合計
	ITサービス事業	金融サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,188,100	36,708	4,224,808	829	4,225,638
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,073	866	5,940	－	5,940
計	4,193,173	37,575	4,230,748	829	4,231,578
セグメント利益又は損失(△)	493,208	△132,161	361,047	829	361,877

	調整額 (注)２	四半期連結損益計算書計上額 (注)３
売上高		
外部顧客への売上高	－	4,225,638
セグメント間の内部売上高又は振替高	△5,940	－
計	△5,940	4,225,638
セグメント利益又は損失(△)	△262,149	99,727

(注) １．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去の△1,052千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△261,097千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運用に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2024年11月１日　至　2025年７月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)１	合計
	ITサービス 事業	金融サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,835,443	4,760	3,840,204	－	3,840,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,150	3,554	6,704	－	6,704
計	3,838,593	8,314	3,846,908	－	3,846,908
セグメント利益又は 損失(△)	433,144	△71,129	362,015	－	362,015

	調整額 (注)２	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)３
売上高		
外部顧客への売上高	－	3,840,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△6,704	－
計	△6,704	3,840,204
セグメント利益又は 損失(△)	△295,970	66,045

(注) １．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去の△3,554千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△292,416千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運用に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2023年11月１日 至　2024年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2024年11月１日 至　2025年７月31日）
減価償却費	6,970千円	3,396千円

（重要な後発事象）

（投資有価証券の売却）

当社及び当社の子会社は、2025年８月18日開催の取締役会において、当社の子会社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、下記のとおり売却いたしました。これにより、2025年10月期連結決算において、投資有価証券売却益（特別利益）を計上する予定であります。

（１）投資有価証券売却の理由

保有資産の効率的運用及び財務基盤強化を図るため

（２）投資有価証券売却の内容

① 売却株式　　　　　：当社子会社保有の非上場有価証券１銘柄

② 売却完了日　　　　：2025年８月18日

③ 投資有価証券売却益：285百万円